

ミラクルスターのつくりかた

Type-F, Bridal Renovator's Ver.

1. 大前提として

大前提として

能力が高く社会から重宝されるが父親や母親の影響を受けて書面や拳式によって社会に認めてもらわない限り不安を感じてしまい乗り越えることができずそれが足かせとなってしまう女性であることが必要です。

世の中には、書面や拳式によって社会に認められる儀式を必要としない人間も多くいます。しかし、その事実を受け入れることができず、ゾンビのように書面や拳式を求め続け、他の一切を停滞させるのです。現実に存在している男性の中から『自分と同じ職業(活動フィールド)・同程度の活動頻度・似通った境遇の男性』を見つけ出し結婚の事実をつくり次の仕事に滞りなく取り組めるようにすることが当代案の趣旨です。

2. 心の拠り所となる土地を決める

今すでにそれがある人は無理に変更する必要はありませんが

心の拠り所となる土地を決めます

心の拠り所となる土地は、自らの活動の起点となる土地です。今あなたの活動がある背景には、必ず起点となる土地・土地を背景とする組織が存在しています。あなたの生まれた環境、父親や母親の影響、あなたが選んだ組織の協力のもと、今あなたの活動があるのです。しかし、それは同時に、「あなたに書面と挙式による後ろ盾を要求する衝動」を生む原因でもあります。

新しい「心の拠り所となる土地」が、今あなたの活動の中で「あなたに書面と挙式による後ろ盾を要求する衝動」をクリアにする可能性があります(個人差あります)。



写真はイメージです

3. 仕事を考える

現在の仕事がある人は無理して辞める必要はありません

ただし、活動を進めるうちにあらぬ不正を疑われたり、作り話の噂を押しつけられたりして、辞めざるを得なくなる可能性があります。そのときのために、辞めた後の仕事について考えておきましょう。

難しく考える必要はありません。

そのときに備えて心の準備をしておく程度で充分です。

4. 仕事を考える(続き)

◆ 複数の仕事を掛け持ちする

- ◆ 最初のうちはひとつの仕事を覚えるのに精いっぱいかもしれませんが、できれば数を増やして複数の仕事を掛け持ちすることをお勧めします。これによって仕事先から無理難題を押し付けられることを防げるようになります。

◆ 責任を負わなければならない仕事は避ける

- ◆ 営業職や各種正社員など目標に対する責任を負わなければならない仕事は避けます。ひとつの時間帯に入る同僚の数が複数いて責任負担割合が低い職場を選びます。お勧めはコンビニエンスストア・食品スーパーなどです。

◆ 異性には手を出さない

- ◆ 仕事先で出会う異性に手を出してはいけません。もし手を出してしまったら、あなたの人生は仕事先の人間の采配ひとつに左右される人生になってしまいます。どうしてもという場合は、最終的に自分か相手のどちらかがその仕事先を辞めざるを得なくなるでしょう。

5. 足場の役割を引き受けてくれる女性六人をつくる

足場の役割を引き受けてくれる女性六人をつくります。

足場の役割を引き受けてくれる女性六人には Type-F, Renovator's Ver. を勧めるのが王道ですが、別の選択肢がある人もいます。

それでお金をもらうことができるだけの価値を持っている(プロフェッショナルである)人は、自分と同じことをそれぞれの時空間のなかで行うように導いてあげるとよいでしょう。

6. 七人目のパートナーと出会う

あなたにとっての七人目のパートナーとは、
自分と同じ職業(活動フィールド)・同程度の活動頻度・
似通った境遇の男性 のことです。

何も特別なことはありません。普通に恋愛してください。
一度で結婚に至る相手が見つかるとは限りません。
そこは割り切って取り組みましょう。

婚姻届可能

「七人目のパートナー」の枠組みで出会った相手と婚姻届を書くことは可能です。その場合、「旧来の結婚」という関係性に移行します。婚姻届を書いた後は、婚姻届を書いた相手以外と子づくりをしてはいけません。